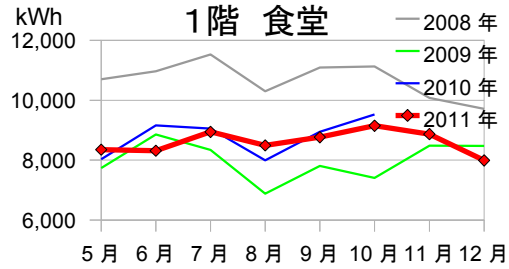


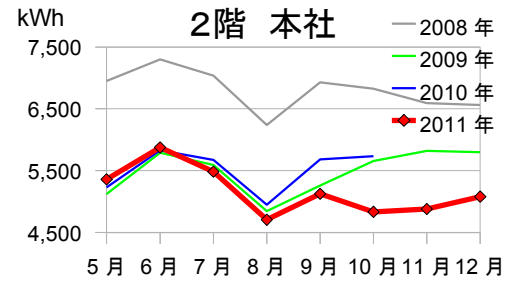
\*\*\* 事務所の省エネ活動\*\*\*

◇ 本社ビルの“電灯・パソコンなど（コンセント類）”の電力



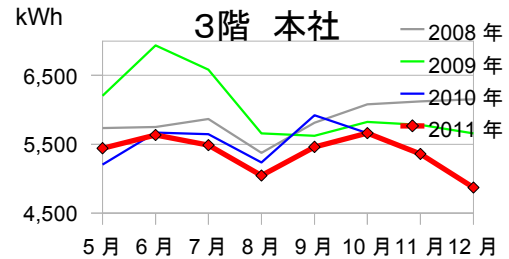
【1階】173万点/年（2008年）⇒138万点/年（2011年）

2009年から、人が居ない時間帯は、積極的に消灯。時々ですが、朝まで電灯が点いており、こまめに消灯できるように、スイッチの場所を判りやすくしました。また、順次省エネタイプ自販機への更新を検討。



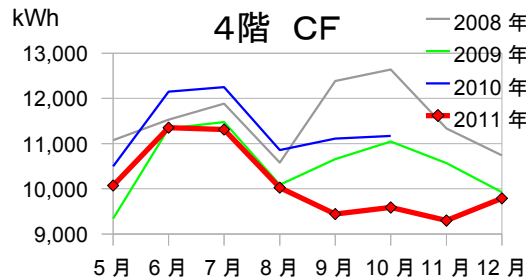
【2階】109万点/年（2008年）⇒86万点/年（2011年）

残業削減や蛍光灯間引き、在席していない時の消灯。また、コピー機の省エネモード活用、使用頻度が少ないリソグラフは使用時のみ電源オン。ECSTによる、各階のトイレ・廊下・更衣室など共有部分の蛍光灯間引きを実施。



【3階】93万点/年（2009年）⇒89万点/年（2011年）

2009/5～2011/11にMSが入り、2009年は一時的に増えた。しかし、2011年は、蛍光灯間引きなど行い、人数が少ない2008年レベル以下で推移。



【4階】180万点/年（2008年）⇒167万点/年（2011年）

2011年は、電力供給不足対応で土日出勤に変更で、効率が悪くなる傾向の中、蛍光灯間引きや在席していない時の消灯意識向上で、過去最少で推移。そして、9月から11月は、更に低いレベルに。

※2010年11月12月は、集計装置故障の為、データなし

**豆知識 パソコンと蛍光灯の電力** ※パソコンは代表数値（機種により違いあり）  
 パソコン1台 80W（本体65W・モニター15W） 蛍光灯1本32W（ビル事務所）  
 15分席を外すなら、モニターを消すだけでも、ちょっとだけエコです。

回覧確認欄


◇RH.AP.MS.HTでは

- ◀RH▶
  - ・昼休みは、消灯を徹底。
  - ・暖房設定温度は、20℃基本ですが、寒い時は少し上げて対応。
- ◀AP▶
  - ・各人の頭上の蛍光灯1台ずつにヒモをつけ、在席していない時は、こまめにオフ。
  - ・夏のエアコンは、室温が30℃になったら入れ、28～30℃になるように運転管理。
  - ・プリンターは、使う人が使う時のみオン。
  - ・来客用のお茶のお湯は、少し前に沸かし他はオフ、急な来客は、給茶機のお湯で対応。
- ◀MS▶
  - ・昼休みは、一箇所で一齐に消灯。その時、明かりが必要な人は、自分のエリアのみ自分で点灯。
  - ・冬は、設定温度20℃ですが、ビルの気密性とパソコンの熱で、快適温度に。
- ◀HT▶
  - ・電灯は、人が居ない場所や昼休みなど休憩時には消灯。
  - ・山崎工場の2階事務所は、炉の排熱により暖房は必要なし。森上工場は、着込んで対応（ウォームビズ）。



全社課題ラリー 環境特別賞

『1パレ入り数の挿入量アップで採算改善』

【発表概要及び受賞理由】

シャフトチーム差額17ヶ月目標への原価低減と、仕事量増加に対する焼鈍能力確保へ焼鈍・ボンデの1パレ加工挿入量アップ活動に取り組みました。現場・スタッフの協力で、シャフト全体の焼鈍加工パレ数の13%に相当する月間670パレの削減ができました。一番のポイントは、過去の思い込みや慣例を捨て、現場の意見を聞き、一つひとつテストを行い、検証しました。

環境特別賞の理由は、この活動により、年間で33.7万㎡の都市ガス使用量の増加が抑えられ、二酸化炭素の発生を700t-CO2削減させたことと、都市ガス削減分として約1,950万点の儲け（差額アップ）につながったことです。

